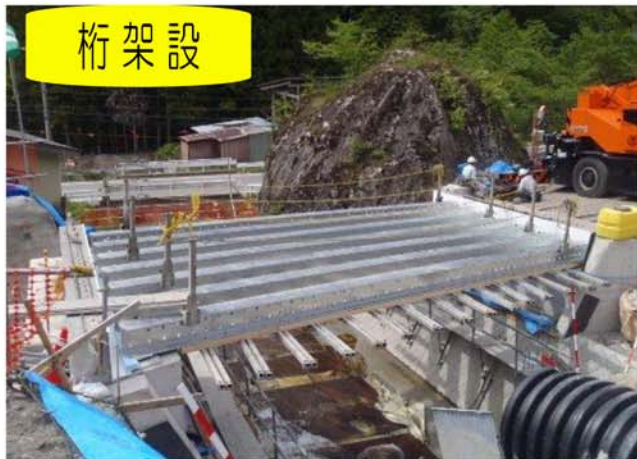




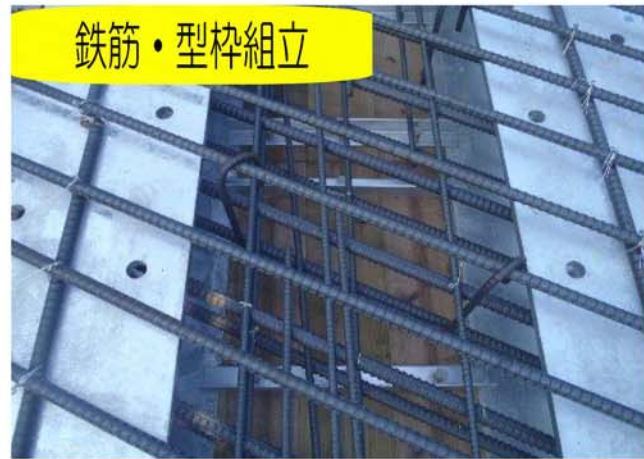
新緑がまぶしい季節となり、日ごとに暑さが増してきました。

今月のカモシカ通信は、現在上村で工事中の「平成24年度 天流川水系ツベタ沢砂防堰堤工事用道路工事」の状況と、大岩（蛇石）について紹介します。

本工事は平成25年7月より工事を開始し、鋭意施工中です。現在の主な作業は工事用道路の橋梁上部工と本堰堤施工範囲の立木伐採を行っています。橋梁上部工は複合構造床版工「イーリースラブ橋」といい工場で製作したH鋼桁を一本ずつ（本橋梁は7本）並べて架設し、桁上面鉄筋等を配筋し型枠を組立てコンクリートを打設する工法です。この工法は、施工が容易で工期が短い特徴を有しています。以下に、工事の状況を写真で解説します。



桁架設

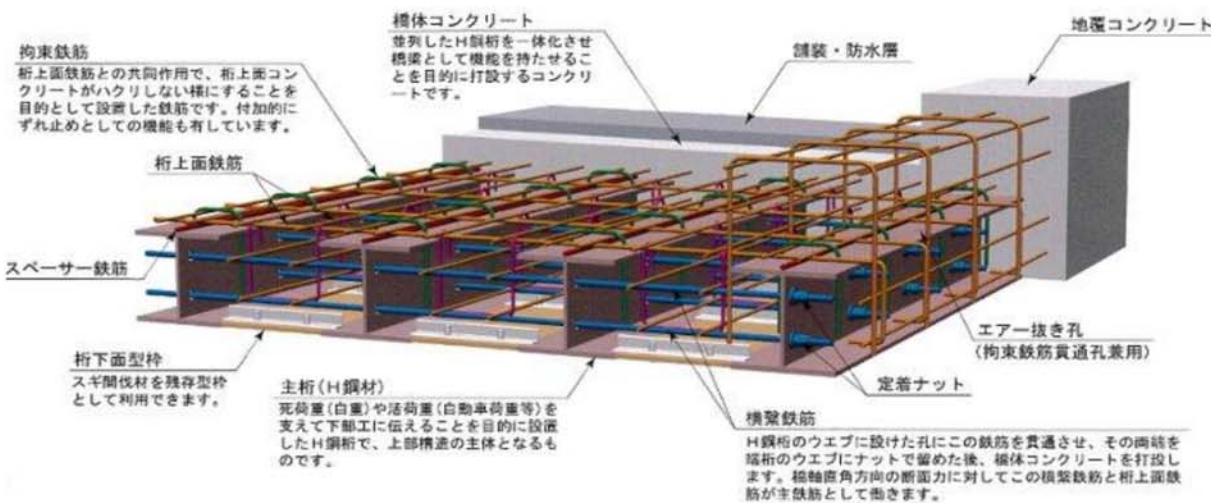


鉄筋・型枠組立



コンクリート打設

構造イメージ図



現場事務所に営巣しているツバメたちです。巣立ちももうすぐです。(6月10日撮影)



オイ ハヤシ 老ノ林ツメタ沢の蛇石



ツメタ沢はたびたびの水害があり、1867（慶応3）年の大水害で沢の上流より大石が流れ下り、当時の沢筋の家畜田畑を押し流し、現在の国道端の場所にそのまま鎮座した。土地の人々はこの大石を蛇石と銘々し、水害の恐ろしさを語り継いでいる。

南アルプス国立公園山開き

- 国立公園50周年
- 信州山の日 県制定



しらびそ高原（飯田市上村）にて、山開きが開催され南アルプスへの登山者の安全を祈願しました。

記念行事では、愛好家によるアルプホルンの演奏が行われた後、鹿の食害により高原周辺で姿を見せなくなったヤナギランの苗を30本植えました。(6月6日)